

修士論文要旨

2021 年 1 月

地域のソーシャル・キャピタルが健康に影響を与える経路に関する研究

指導 野村 知子 教授

心理学研究科

健康心理学専攻

219J4053

遅 欣源

Master's Thesis (Abstract)

January 2021

A study of the pathways in which local social capital influences health

Xinyuan Chi

219J4053

Master's Program in Health Psychology

Graduate School of Psychology

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Tomoko Nomura

目次

第1章	はじめに.	1
第2章	SC について.	1
2.1	SC の定義.	2
2.2	SC と個人の健康.	3
2.3	SC と地域の健康.	4
2.4	SC が健康に影響を与える経路.	6
第3章	研究対象.	8
3.1	研究対象.	8
3.2	K 町の特徴.	8
3.3	研究目的.	10
3.4	研究方法.	11
3.4.1	操作的定義.	11
3.4.2	分析方法.	12
3.4.3	使用した尺度.	13
第4章	研究の結果と考察.	13
4.1	調査の対象.	13
4.1.1	基本属性.	13
4.1.2	近隣関係.	14
4.1.3	健康に良い情報がより伝達されるか.	15
4.1.4	凝集性.	17
4.2	調査の結果.	19
4.2.1	近隣関係の質と活動への参加得点との関係.	19
4.2.2	近隣関係の量と活動への参加得点との関係.	19
4.2.3	凝集性と活動への参加得点との関係.	20
4.2.4	社会全体への信頼と社会活動参加状況との関係.	21
4.2.5	社会全体への互酬性と社会活動参加状況との関係.	22
4.2.6	まとめ.	22
4.3	考察.	23
4.3.1	近隣関係の質と活動への参加度.	23
4.3.2	近隣関係の量と活動への参加度.	23
4.3.3	社会的凝集性・信頼・互酬性と社会参加活動への参加度.	23
4.2.4	まとめ.	24
第5章	本研究の限界と今後の課題.	24

参考文献

地域のソーシャル・キャピタルが健康に影響を与える経路に関する研究

現在、日本では出生率が低下し、高齢化が急速に進んでおり、人口減少社会に突入している。さらに、都市化、住民関係の希薄化に伴い、コミュニティの問題も多く現れている。現代では、生活様式やコミュニケーション手段によって、地域のつながりが薄れていく中で、コミュニティの問題は、心理・社会的に大きな課題とされているだけでなく、健康とも深い関連をもつものとして注目されている。住民ニーズの複雑化・多様化に伴う行政対応の限界が多く、多くの学者から指摘されており、地域課題の解決、地域環境づくりの必要が高まっている。このような状況の中で、人々の健康と日常生活の様々な領域、レベルに影響を及ぼす一つの要因、人と人の関係性の中から生まれたものとして、ソーシャル・キャピタル (Social Capital, 以下 SC) という概念がある。心理社会学、経済学、政治学などの領域で議論されており、関心が高まってきている。

本研究では、まず SC と健康に関する文献を整理し、SC が健康への影響を述べた。そして、SC が健康に影響を与える経路についての仮説が立てた。その仮説に基づき、t 検定及び相関分析などの分析を行った。最後に、本研究の限界と不足を説明し、今後の研究課題をまとめる。

パットナムは、SC を「調整された諸活動を活発にすることによって社会の効率性を改善できる、信頼・規範・ネットワークといった社会組織の特徴であり、共通の目的に向けて効果的に協調行動へと導く社会組織の特徴である」と定義した。

本研究の目的は、地域におけるソーシャル・キャピタルは地域の健康水準に影響を与える経路の一つ、密なネットワークにより、健康に良い情報がより伝達されるかを明らかにする。

調査は野村知子、杉澤秀博らが 2019 年 9 月に行った八王子市 K 町に在住していた 65 歳以上の高齢者を対象に無記名自記式質問紙を用いた調査のデータを二次利用した。回収率は 46.2%であった。男性が 37.8%、一人暮らしが 18.2%であった。

結果として、近隣関係の質（近所づきあいの程度）、近隣関係の量（近所づきあいの数）と健康活動への参加との関連性については、有意な結果が得た。凝集性と健康活動への参加の間に、有意な関連が見られなかった。今回の研究は、概ね密なネットワークにより、健康に良い情報がより伝達されることが検証したが、これからの研究では、より深く、幅広く検証する必要がある。